



琉球大学生と 宜野湾高校生が 普天間の未来を描く

～学生がデザインするまちづくり～

1チーム

スタンプラリーで地域と学生をつなぐ「ふてんまとりっぷ」

スタンプラリーを通して学生に普天間の魅力を知ってもらい、学生の視点で発信することを提案しました。



宜野湾市と琉球大学が連携し、地域課題の解決を目指す公開授業「学生がデザインするまちづくり」の最終発表会が、オンラインで行われました。この授業は高大連携事業として、宜野湾高校の生徒も含め、大学生、社会人合わせて16名が参加しました。受講生は昨年10月から1月まで、15回にわたり、職員による講義やフィールドワークなどで地域の課題を検討し、課題解決への企画を考え提案しました。

2チーム

Instagramを活用した地域活性化

若者が活用するInstagramを使い、普天間の魅力を発信することを提案しました。



3チーム

学生が地域で自由に起業するまちづくり拠点

空き店舗を活用し、地域の課題解決に取り組む学生起業家を支援することを提案しました。

発表会には、市職員も来場し、多くの意見交換が行われました。

宜野湾高校2年 野原百可さん



宜野湾市在住の私も初めて知ることが多く、勉強になりました。また、大学生や社会人など目上の方と関わるきっかけにもなりました。宜野湾市をもっと住み良い街にしていきたいです。

琉球大学生 林 愛玲さん



社会人、高校生との共同授業のため、自分と違う視野と考え方から地域の問題を客観的に見て、解決案を出すことができました。素晴らしい発表会ができて、感銘を受けました。

琉球大学生 西浦梨華さん



この講義を通して、地域活性化についてどのような取り組みができるのか深く考えることができました。同時に、普天間の魅力に気付くことができ、ほかの人にも広めたいと思うようになりました。

社会人 高野 衛さん



普天間は沖縄市に行く途中のよく通る街でしたが歩いたのは初めてでした。その感想をもとに一緒に歩いた学生と未来の議論するのはとても楽しかったです。普天間マニアになってしまいました。

授業の詳しい内容はこちらをご覧ください。(学生がデザインするまちづくりホームページ)



毎年3月8日は『国際女性デー』

International Women's Day

毎年3月8日は『国際女性デー』、国連が定めた女性の権利及び国際平和のための日です。

国連女性機関による2021年国際女性デーのテーマは、「リーダーシップを発揮する女性たち：コロナ禍の世界で平等な未来を実現する」です。最前線で働く人の大半である女性の権利を擁護し、感染症への備えや対応に女性の潜在的なリーダーシップを

十分に活用するためには、多様で幅広い女性や少女の視点を、政策やプログラムの策定と実行の中に取り込んでいく必要があります。

本市においても、女性の意見を市の政策や方針決定過程に反映させるため、第3次宜野湾市男女共同参画計画～はごろもぷらん～において、審議会等委員への女性の登用を促進しております。

5 ジェンダー平等を実現しよう



SDGs 「目標5：ジェンダー平等を実現しよう」

(国連採択の2030年までに達成すべき持続可能な開発目標の1つ)